

令和5年度指定管理者モニタリング外部評価結果

施設名	関市安桜ふれあいセンター
-----	--------------

選定方法	特定者氏名	
------	-------	--

外部評価

4	優れている
---	-------

コメント

- ・企画等により利用増に伴っての工夫がされている。
- ・年齢を問わない地域に密着した交流活動等が行われ、広報活動も積極的である。
- ・収支状況は利用者数、収入が増加しており、継続的にサービスが提供できている。
- ・適正に運営されている。
- ・協定書に修繕費の件数上限がないのはやや問題がある。
- ・利用料金は市内と市外の方で価格差を設ける検討をすべきである。

令和4年度 指定管理者モニタリング結果票

施設名	関市安桜ふれあいセンター
所在	関市千年町2丁目18番地1
指定管理者	安桜まちづくり協議会
担当部署	協働推進部 市民協働課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
総合評価	安桜プラザ第2駐車場が整備され、市民活動センター、児童館と連携しながら、良好な管理運営が図られている。今後も地域住民の交流の場を提供し、地域に密着したコミュニティ活動の拠点施設としての取り組みを図りたい。
合目的性・公平性・効果性(施設の目的との合致、市民の平等利用の確保、施設の効用発揮)	主に安桜地域の住民に利用されており、安桜地域の拠点施設として地域のコミュニティ活動及び地域の発展に大いに寄与しているものとする。安桜プラザ第2駐車場整備により、多くの利用者が車を駐車することができている。
機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)	地域委員会事業として、各部会で多彩なイベントや教室が行われている。
責任性・実効性(施設の運営体制・組織)	パート等の職員を3名雇用し、連携もとれており必要十分な職員体制で業務を行っている。コロナ禍で事務員が出勤できなくなった場合も、管理運営を円滑に行うためにも対策が取られている。
安定性・安全性(管理の安定性と安全管理、緊急時等での対応)	必要な保守点検業務を実施しており、施設の安全管理に努めている。緊急時の連絡体制を整備し、災害が発生した場合の想定もされている。コロナ禍においても、コロナ対策がしっかりできていた。
社会性・貢献性(市や地域への貢献、環境への配慮等)	軒先ショップ(火曜日)などで、特産品や地元でとれた野菜などを販売、地域委員会の活動や地域のサークル、教室への貸館業務を通して市や地域に貢献しているとする。環境面としては、利用者に省エネを呼び掛けている。
効率性・経済性(経費の縮減と収入の増加対策)	コロナが終息し、コロナ前の利用者が戻りつつあり、収入が増加傾向にある。また、予約システムの導入により、幅広い地域からの利用があるが、燃料費の値上げに伴う電気代高騰のため大幅に電気代が高騰している。
経営の健全性	繰越金が適正な範囲であり、十分な活動が行われている。
課題・業務改善への考え方	指定管理者としての管理運営は問題なく行われており、引き続き良好な管理運営をお願いしたい。

過去3か年の運営状況

施設名	関市安桜ふれあいセンター
指定管理者	安桜まちづくり協議会
担当部署	市民協働課

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数(人)		9,426	11,648	13,550
収入	収入額(円)	6,811,936	7,262,455	7,392,066
	うち市からの指定管理料(円)	5,147,000	5,650,000	5,336,000
	他の主な収入内容	438,450	541,790	629,750
	使用料の受入先 (どちらかに○)	指定管理者 市	○	
支出	支出額(円)	5,893,291	6,520,155	6,574,333
	主な支出内容	維持管理経費	維持管理経費	維持管理経費
差引	差引(円)	918,645	742,300	817,733
	損益の処理方法 (どちらかに○)	指定管理者 その他(具体的に)	○ ()
職員数	職員数(人)	3	3	3
	内パート等の人数(人)	3	3	3